

岩手社保協ニュース

2022 年 12 月 13 日（火）No12（通刊 134 号）

〒020-0015

盛岡市本町通 2-1-36 浅沼ビル 6F

TEL・FAX 019-654-1669

E-mail i-shahokyo@aurora.ocn.ne.jp

「安全・安心の医療・介護実現のため 処遇及び制度の改善を求める意見書」採択

賛成多数で採択 自民党・公明党は反対

12 月 8 日、12 月定例県議会最終本会議が開かれ、「安全・安心の医療・介護実現のため処遇及び制度の改善を求める意見書」が賛成多数で可決しました。自民党、公明党が反対しました。

* * * * *

意見書は、政府が来年の通常国会に向けて進めている介護保険見直しの検討について、「負担増と給付削減の提案がなされており、利用者と事業者双方への影響が懸念される」と指摘したうえで、▽医療や介護の現場での夜勤交代制労働に関わる労働環境を抜本的に改善する（労働時間の上限規制や勤務時間インターバルの確保のための財政支援など）▽介護従事者を大幅に増やし、人員配置基準の引き上げを行う一ことを要望しています。

介護保険見直しに関しては、「利用料の引き上げ、要介護 1、2 の生活援助サービス等の地域支援事業への移行、ケアプランの有料化、貸与の福祉用具を購入に変更する」ことなどを行わないように求めています。

意見書の可決は、いわての介護を良くする会、岩手医労連がそれぞれ県議会に提出していた請願の部分採択を受けたものです。

医師・看護師の大幅な増員、介護従事者の給与引き上げは盛り込まれず

福祉環境委員会では、岩手医労連が請願で求めた「安全・安心の医療・介護を実現するため、医師・看護師・介護職員などの配置基準を抜本的に見直し、大幅に増員すること。」は否決されました。

介護を良くする会が求めた「全額公費により、すべての介護従事者の給与を全産業平均水準まで早急に引き上げること。」についても否決されました。

安全・安心の医療・介護の実現へ運動を前進させよう

コロナ禍のもとで、現場の自己犠牲に頼り続けている現状を変え、安全・安心の医療・介護の実現のためには、「医師・看護師の大幅な増員」と「介護従事者の給与を全産業平均水準に引き上げること」は切実な要求です。

採択された意見書の実現と合わせ、引き続き運動を前進させましょう。

11/28 厚労省介護保険部会

**ケアプラン有料化、要介護 1, 2 の保険外し、被保険者の拡大、
補足給付の拡大は「見送り」の方向へ
引き続き、介護制度大改悪阻止のたたかいを強めよう！**

11 月 28 日に行われた厚労省介護保険部会では、①介護利用料 2 割化の対象拡大、②多床室の室料負担、③第 1 号保険料の引き上げの 3 点の負担増は実施の方向で検討するとされ、④ケアプラン有料化、⑤要介護 1 と 2 の保険外し、⑥被保険者の拡大、⑦補足給付の拡大は、慎重意見が多き、引き続き検討事項となり、見送りの方向となりました。

この間の介護制度改悪反対運動の広がりのなかで、一定の前進はありましたが、利用料 2 割化や多床室の室料負担、第 1 号保険料の引き上げなど、国民負担増の計画が残されており、運動を緩めることなく、引き続き介護制度大改悪阻止のたたかいを拡げていくことが求められています。（11/29 中央社保協ニュースより）

「高校卒業までの子ども医療費窓口負担の無料化を求める意見書」全会一致で採択

子どもの医療費助成制度拡充を求める
岩手の会 請願提出（12/1）

12月1日、子どもの医療費助成制度拡充を求める岩手の会は、高校卒業までの医療費窓口負担の無料化と高校生までの現物給付を求める請願を提出しました。

12月8日の本会議で、国に対して「高校卒業までの子ども医療費窓口負担の無料化を求める意見書」が全会一致で採択されました。



五日市議長（右から2人目）に、請願を渡す
小野寺けい子共同代表ら（12月1日）

高校生までの医療費助成 「現物給付」へ 達増知事が拡大方針表明

達増知事は12月1日、医療機関の窓口で医療費助成分を支払う必要のない「現物給付」の対象を、現行の中学生から高校生まで拡大する方針を示しました。

達増知事は、高校生までの現物給付化について、市長会、町村会を通じて全33市町村から要望を受けていると答弁。「これまで全县一律で、県と市町村が足並みをそろえて導入を図ってきた経緯も踏まえ、来年度の実施に向け検討を進めていく」と述べました。

この問題は、県議会9月定例会で、日本共産党の高田一郎議員が一般質問で取り上げ、知事は「市町村との協議を進めている」と答弁していました。

国は「現物給付は医療費増加につながる」として国保財政への支出金を減らすペナルティを設定しています。県の試算では高校生まで拡大した場合、1千万円の減額が見込まれるとしています。減額分は市町村の納付金で補うことになり市町村の負担が増しますが、県は半額を負担する方針で検討しています。

現在、「現物給付」を高校生まで行っているのは静岡、茨城、新潟、鳥取、福島の5県です。

厚労省試算 75歳以上医療制度

24年度から保険料年平均 5,300円増

年153万円超の収入のある約4割が負担増に

厚労省は12月9日、2024年度から実施するとしている75歳以上の医療制度改定で、1人あたりの保険料が平均で年5,300円上がるとの試算結果を社会保障制度審議会に示しました。

増額分の内訳は、現役世代の負担軽減を口実に、高額所得者だけでなく、中間所得者を含む所得割部分を年4,000円引き上げます。また、「出産育児一時金」を原則42万円から47万円に増やすと仮定し、一時金全体の7%分（年1,300円）を負担させるというもの。年金のみで年153万円超の収入がある75歳以上の約4割に負担増が直撃します。

いのちを軽視し大軍拡に突き進む岸田政権はNo！

この制度改定で、年収80万円の人の保険料は増えませんが、年収200万円で年3,900円増、年収400万円で年1万4,200円増となります。

さらに、この制度改定に加えて、2024年度は高齢化による医療費増（自然増）を保険料に反映することが予定されており、合わせると年平均9,600円の負担増となります。

岸田政権は、国庫負担割合を減らしてきた経緯には無反省です。物価高騰でも年金を引き下げ、医療費の2割化を強行し、社会保障費を削って大軍拡路線を突き進んでいます。反対の声をあげましょう。

岩手県保険医協会アンケート調査

マイナンバー制度反対連絡会



第 7 回わたし☆まちフォーラム in いわて 岩手におけるジェンダー平等 ～多様性を認めあえる社会をめざして～

「ジェンダー平等って本当は何だろう？」から始まり、皆さんの身近な職場、地域そして家庭の中での「これおかしくない？」と思うことを出し合って話し合い、気づきあい、認めあう社会づくりに近づいていきましょう。

日時：2023 年 2 月
19 日（日）
10：00～15：30

会場：アイーナ
804A
(盛岡駅西口)

参加費：無料

会場参加者は事前申し込みが必要です。

プログラム

全体集会 (対面・オンライン開催)

10：00～11：50

講演 岩手大学教員

海妻 径子^{けいこ}さん

分科会 (対面開催)

13：15～15：30

第1分科会 「自治・まちづくり」

第2分科会 「産業・労働」

第3分科会 「くらし・保健・福祉」

第4分科会 「子育て・教育」

オンライン (zoom) 参加者は下記URLもしくはQRコードから入場してください。

<https://us02web.zoom.us/j/83370611527?pwd=RFRIRXA4Q0JUMWpDUXZUNFpMMjNyQT09>

ミーティング ID: 833 7061 1527

パスコード: 096624



主催：NPO法人岩手地域総合研究所

共催：いわて労連 岩手医労連 岩手自治労連 盛岡市職労 岩手県消団連 岩手県生協連 岩手県農協労組 岩手民医連
いわて食・農ネット いわて生協労組 岩手県私教連 盛岡地域労連 岩手県年金者組合 岩商連 岩手県社保協
岩手県医労 岩手県革新懇 復興岩手県民会議 岩手県生健会 新婦人岩手県本部 岩手県国公共闘 岩手県農民連
岩手県社会福祉労働組合 岩手県学童保育連絡協議会 岩手民教連 岩手県母親大会連絡会 民青同盟岩手県委員会

..... 参 加 申 込 書

●申し込み先 岩手地域総合研究所 020-0021 盛岡市中央通 2-8-21
TEL (FAX) 019-624-6715 e-mail i-chiikisouken@salsa.ocn.ne.jp

FAX、メールもしくは郵送でお願いします。(メールの場合は記載漏れのないように)

●締め切り **2月6日(月)**

氏 名	連絡先 (電話番号)	所属団体・職場等	全体集会○×印		分科会
			会場	zoom	参加分科会名
	-				

この申し込み内容を参加者集約およびコロナ対応以外の目的に使用することはありません。